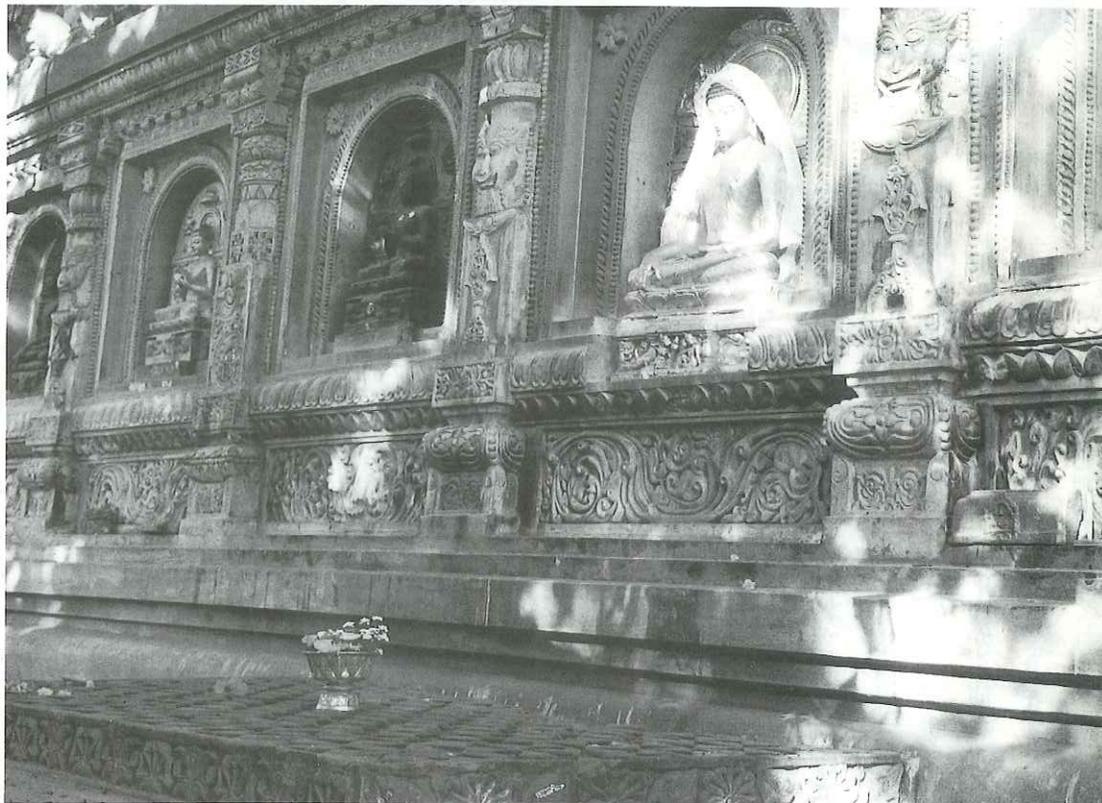


身近なお寺の情報誌



インド・ブダガヤの大塔と金剛法座（撮影：永野彌然）

インド・ブダガヤの大塔は、アショーカ王により紀元前3世紀に建立されたが、早い時期に崩壊した。現在の大塔は規模を縮小して紀元2世紀に再建されたと言われている。

西壁を背にしてお悟りの姿の釈尊の金箔の像があり、その下には釈尊が座していた金剛法座がある。（写真）



雲居隆昌

(長延寺前任職)

徳川時代初期より神奈川宿の外れに約三百年続きました長延寺の寺基を、山野を切り開き草木ひとつない三保の土地に移転して早くも三十余年になりました。現在では、木々も成長し一応環境も整いました。雀を始めとして、野鳥が囀り、菽鶯も裏の竹藪にやってきて、「法を聞けよ」と鳴いてくれます。

住職を長男に譲ってからは、境内の数カ所に餌台を置き、野鳥の餌づけを始めました。最初は雀のみでしたが、やがて寒中になりますと、四十雀、雉鳩、目白、鶉、椋鳥等がやってまいります。楽しみは増してきますが、晨朝勤行を終え、寒さを我慢しながらの餌づけは相当な苦行です。でも、鳥たちが日の出前から餌を待っているとなると励みも出ます。最近では、鳩の餌、粟、稗等や牛の脂肪も購入して与えております。

話によりますと、欧米の公園などでは、野鳥が人の手に乗って餌をついばむといわれます。しかし、日本では警戒心が先で、パツと飛び立ってしまいます。残念なことです。いつの日か、手のひらから餌を食べてくれるようにと心掛けておりますが、いつできますことやら……。

私の心を理解してくれない鳥たちを少々うらめしく思い

野鳥と共に

ながら、ふと阿弥陀さまのことに思いが至りました。宗祖親鸞聖人は、「自然法爾」という味わい深いことを示しておられます。「自然法爾」とは、阿弥陀さまの御はからいによる救いそのもの(法)が私に働き続けてくださっているということですが、如来さまからいただいたお念仏に、私の救いも悟りもすべて込められているのです。そこでは、私のはからいはまったく必要ありません。如来さまのひとり働きだからこそ、親鸞聖人は、「自然」といわれたのであります。私たちにできることは、ただ報恩感謝のお念仏をするのみです。

ところが、私の称えるお念仏は、御恩報謝の思いのお念仏となっているでしょうか。私は、阿弥陀さまが私のことをひとり子のごとく心配しつづけていてくださることを十分承知しています。それなのに、阿弥陀さまにおまかせしきれない私が、私のところの中にいるのです。私のところは、まだ、如来さまの前からぱつと飛びたとうとするのです。いつになったら、自然報爾のお念仏が、こころの底から御恩報謝のお念仏となって称えられますでしょうか。毎朝、野鳥の餌づけをしながら自然とふれあい、そのようなことを考える今日この頃です。

野の鳥に慈悲もて注がん寒施行 阿梵

親鸞聖人 ゆかりの地 -京都篇-

1 誕生院(浄土真宗本願寺派)

伏見区日野西大道町一九
宗祖親鸞聖人は、藤原一門の日野有範の子として生まれた。その場所は、日野家と縁の深い法界寺(真言宗醍醐派)あたりといわれている。誕生院は法界寺に近接して建てられた本願寺派の施設である。

2 青蓮院(天台宗)

東山区粟田口三条坊町
宗祖は九才のとき慈円僧正をたすねた。慈円はあどけない少年を見て、すでに日が暮れていたことを理由に得度式を延期しようとした。ところが宗祖は、「明日ありと思ふ心のあだざくら 夜半に嵐の吹かぬものは」と詠んで、無常なる世なればこそ、今すぐに変わらぬ真実を求めたいと出家の決意を示し、その日のうちに得度式が行わ

れたという。
青蓮院の庭は相阿弥の作と言われ、東山の自然を取り入れた景観は美しい。

3 延暦寺(天台宗本山)

滋賀県大津市坂本本町
伝教大師最澄により延暦七年(七八八)に創建。わが国の最高学府として宗祖のほか、法然、栄西、道元、日蓮等の鎌倉仏教の祖師たちを輩出した。
宗祖は九才から二十九才までの二十年間をここで過ごした。比叡山には東堂、西塔、横川と僧院があるが、宗祖は横川の首楞嚴院で堂僧として不断念仏の行にいそしまれた。

4 六角堂(天台宗)

中京区六角通烏丸東入
宗祖は比叡山で深く学問をおさめ、きびしい修行をなしたげても、なお人間の悩みや迷いを解決する道を見いだすことができなかった。ましてや修行に専念できない在家の人々にとっては、このままでは救いの道は開かれない。本當の救いとは何かを求め宗祖は比叡山を下りた。そして在家仏教の先達である聖徳太子にゆかりの深い六角堂に参籠。九十五日目のあかつきに示現を受け、法然上人の念仏教団をたすねることになった。
六角堂は正しくは頂法寺といい、本尊は聖徳太子の本地と崇められた観音菩薩である。

5 安養寺(時宗)

東山区円山町
法然上人の吉水の庵の跡をつたえるのが安養寺である。知恩院の南側に位置する。宗祖にとって師匠法然上人との出会いは、のちに「しるかに愚禿釈の鸞、建仁辛酉の歴、雑行をすてて本願に帰す」(教行信証)と述懐するように、人生の一大転換をもたらす出会いであった。ときに宗祖二十九才、法然六十九才であった。のちに念仏停止を受け流罪に処せられるまでの六年余の間、ここで子弟の契りを深くした。
あるとき宗祖が「師匠法然上人の信心と自分の信心は同じである」と主張したことで、門弟たちのあいだで論争が始まった。結局「自力の信ならばその人のもつ知恵や能力で違いがあるが、他力の信とは阿彌陀如来より恵まれる信心であるから、みな同じである」という宗祖の見解に、法然上人が賛同し決着したというエピソードがある。いかに二人が深い信頼関係で結ばれていたかが偲ばれる。

7 光円寺(真宗大谷派)

下京区松原通新町西入敷下町七
宗祖が京都に帰ったのは六十三歳の頃である。三十五歳のとき越後に流罪に処せられて以来、関東にも二十余年滞在して念仏の教えを伝えられた。
帰洛後は晩年まで、数多くの書物を執筆しながら、関東からたすねてくる門弟に面接する生活であった。住居はいくつか転々としていたようであるが、「伝絵」に「五条西洞院わたり、一の勝地也とて、しほらく居をしめたまふ」とある場所については、関東の門弟平太郎が宗祖を訪ねてはるばる上洛した旧跡とつたえる光円寺がある。

8 善法院跡

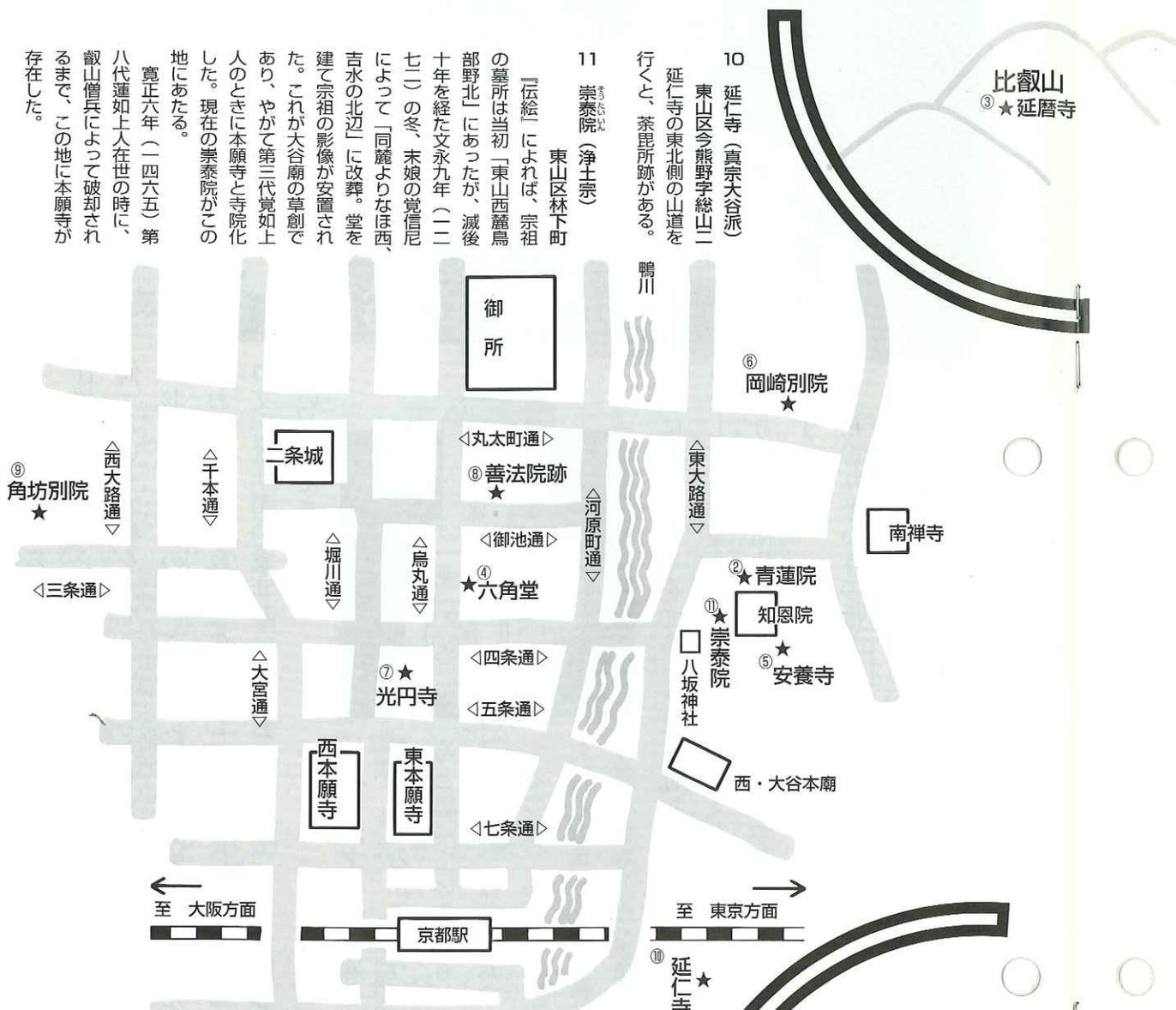
中京区御池通柳馬場角
宗祖は弘長二年(一二六二)、舎弟尋有の善法院で、念仏とともにしほらくに九才の生涯を終えた。その入滅の地としては諸説あるが、「伝絵」には「押小路南、万里小路東」とあり、現在の柳池中学校の地に相当する。学校の裏門には「見真大師遷化之旧跡」の石碑がある。

9 角坊別院(浄土真宗本願寺派)

右京区山ノ内御堂殿町二五
もつひとつの入滅の場所としてあげられるのが角坊で、ここに善法院があったともいわれる。江戸末期に宗祖六百回忌法要を迎えるにあたり、堂を建てて顕彰したものである。

6 岡崎別院(真宗大谷派)

左京区岡崎東天王町二六
吉水時代、宗祖はこの地に庵をむすび、吉水の法然上人のもとに通った。
境内には越後流罪におもむくとき、姿をうつして名残を惜しんだとされる窈見の池がある。



宗祖親鸞聖人略年譜

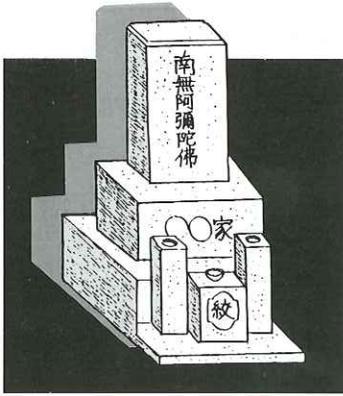
年齢(年)	略年譜
二七二(承安二年)	誕生
二八一(建長元年)	出家得度
二九〇(建長七年)	吉水の法然のもとに入門
三〇七(承元元年)	念仏停止、越後国府に流罪
三二一(建保元年)	流罪赦免
三二四(建保四年)	この頃妻子とともに越後から関東に移住
三二七(建保七年)	念仏の教えを広める
三三三(文應元年)	「教行信証」起草
三三九(文應五年)	この頃京都に帰る
三六二(享和二年)	晩年まで著述活動を続ける
三九〇(元治二年)	往生

お墓は何のために

浄土真宗のお墓

浄土真宗のお墓の形は、図のような標準型が圧倒的に多く、最近では横長の形をした洋風のお墓も見られます。ご先祖の法名をたくさん刻む場合は、墓碑とは別に、「法名碑」という石板をたてることもあります。

お墓というものは、ご本尊（阿弥陀如来）のおはたらきによって、お念仏にいだかれてお浄土に参られたご先祖をしのぶために建立されるものです。ですから、お墓の正面の文字は「〇〇家」という家名ではなく、「南無阿弥陀仏」の六字名号を刻むのが望ましいといえます。



どうかするとお墓を、生きている人間の地位や財産の象徴であるかのように考え、大きいほうがよいお墓であると思っている人もおられますが、もちろん、それは間違いです。自分の家のお墓だけをとくに目立たせようとするのは、あまり感心したことではありません。また、お墓の方角や立地条件、石の質などによって、良し悪しにこだわるような迷信に左右されることはありません。

次に、お墓参りをするときには、礼拝の前に墓所の掃除をし、花を供え香をたき、お参りをします。菓子や果物などをお供えした場合、そのまま放置しておくこと腐ったりよごれたりして不衛生になりますから、お参りがすんだら持ち帰り、家族でいただくようにします。

お墓参りというのは、亡き人（先祖等）を縁として阿弥陀如来を拜むことです。それによって迷っている私たちが照らされ、そのおかげで生かされていることに気づかせてもらうのです。お寺の境内墓地であれば、先に本堂にお参りをするのも礼儀です。



お寺を訪ねて (8)

ご門徒とカラオケを楽しむ

あざみ野の西勝寺

横浜市青葉区新石川一〇一八

東急田園都市線と横浜市営地下鉄の『あざみ野駅』から北へ向かって歩いて行くと直ぐに、「西勝寺北側」の信号が目に入る。その信号から右手に目をやると、小高い丘の上に西勝寺は建っていた。

西勝寺の開基は、安土桃山時代の永祿二年（一五五八）に初代住職の釋純能法師によって、現在の本堂の北側に堂宇が建てられた。しかし、弘化二年（一八四五）に火災により消失。文久三年（一八六三）に現在の本堂が建てられた。

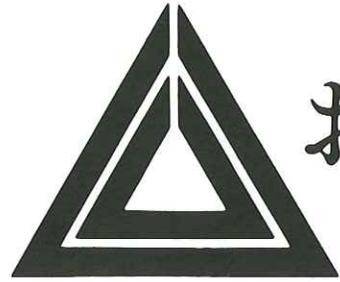
昭和五十二年頃に、田園都市線の『あざみ野駅』ができるまでは、この一帯は農業中心の生活を営む家が殆どであったが、田園都市線と横浜市営地下鉄の『あざみ野駅』ができた現在は、その面影は殆どない。横浜北部の商業

地として発展し賑わいを見せている。

西勝寺では、前々住職の時に「お寺は年寄しかこない」という思いから、「報恩講」や「花まつり」のときに紙芝居やおとぎ話などを用いて、できるだけ若い人もお寺に気軽に集まれるように努力された。それを受け継いだ現住職の藤下悌乗師は「テレビなどの発達した現在では、紙芝居などでは若い人は集まらない」と思い、思案をめぐらした。そんな時ある方から、「お寺でカラオケでも」といわれ、悌乗師はシベリア抑留時代に覚えた機器操作の技術をいかし、カラオケをお寺で始めることになった。現在では、ご婦人を中心に月二回、先生をお呼びしてのカラオケの練習が行われ、ご門徒間の親睦が深められている。

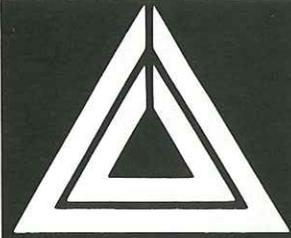
また、悌乗師は医学博士でもあり、法要などの時に、医師を招いて医療相談を行ったりして、寺院活動に取り組んでいる。

手のしわとしわを合わせて…しあわせ



お仏壇の

はせがわ



お仏壇の
はせがわ



テレビでおなじみの
……ゆうこちゃん

お仏壇のある豊かな暮らしをお届けします。

お仏壇のはせがわ

会社概要

資本金：38億5,100万円
株式総数：1,459万株
社員数：900名
製造部：(株)はせがわ美術工芸(国宝美術品、寺院神社)
株長谷川仏壇製作所(純金箔仏壇)
長谷川江川木工梯(唐木仏壇)
銜長谷川唐木仏壇製作所(唐木仏壇)

業界初の
上場企業

ホームセンター事業部：代0489-83-1511
昭和59年 京都西本願寺阿弥陀堂 昭和大修復事業
昭和62年 京都清水寺開山堂御厨子・三重塔 堂内修復事業
昭和63年 福岡証券取引所業界初の株式上場 株式上場大阪証券取引所2部(福岡証券取引所)

横浜・川崎地区の店舗ご案内

- 上大岡店 横浜市港南区日野5-1-25 ☎045-844-5740
- 戸塚店 横浜市戸塚区柏尾町440-1 ☎045-824-1166
- 今宿店 横浜市旭区今宿東町1621 ☎045-951-5311
- 新杉田店 横浜市磯子区杉田1-2-3 ☎045-774-6011
- 長津田店 横浜市緑区いぶき野3-1 ☎045-983-1001
- 鶴見店 横浜市鶴見区駒岡町1488-1 ☎045-583-2271
- 川崎店 川崎市川崎区東田町2-1 ☎044-222-7577
- 鷺沼店 川崎市宮前区東有馬1-1-19 ☎044-852-1268
- 町田店 東京都町田市市中町1-21-14 ☎0427-29-6711

営業時間 午前10時～午後7時 日曜・祝日も営業いたしております。

わたしたちのお寺です

浄土真宗本願寺派

神奈川組

- 円光寺 〒210 川崎市川崎区台町4-21
石川 康承 ☎044-266-2677
- 宝円寺 〒210 川崎市川崎区境町5-10
飯田 琢亮 ☎044-222-3941
- 光徳寺 〒210 川崎市川崎区京町1-14-3
林 信順 ☎044-333-3997
- 正楽寺 〒210 川崎市幸区南幸町2-49
佐々木泰博 ☎044-522-1961
- 高元寺 〒211 川崎市中原区宮内4-3-12
宮本 義孝 ☎044-777-6544
- 長念寺 〒214 川崎市多摩区登戸1416
小林 泰善 ☎044-911-2549
- 常念寺 〒215 川崎市麻生区栗木203
古市 溪峰 ☎044-988-0205
- 善龍寺 〒221 横浜市神奈川区斎藤分町33
斎藤 幸紹 ☎045-491-9431
- 善教寺 〒223 横浜市港北区新羽町2396
平等 勝尊 ☎045-541-7684
- 教覚寺 〒223 横浜市港北区新羽町2395
平等 真証 ☎045-531-5050
- 光輪寺 〒223 横浜市港北区下田町3-2-9
村石 恵照 ☎045-561-8671
- 東善寺 〒224 横浜市都筑区中川7-18-29
長谷尾芳雄 ☎045-911-3509
- 寿福寺 〒224 横浜市都筑区茅ヶ崎町1026
多田 晨向 ☎045-942-3765
- 最乗寺 〒224 横浜市都筑区勝田町1277
日野 教昭 ☎045-941-3541

- 長徳寺 〒224 横浜市都筑区牛久保西3-9-1
平塚 大乘 ☎045-911-7351
- 西勝寺 〒225 横浜市青葉区新石川1-10-8
藤下 悌乗 ☎045-911-0156
- 長延寺 〒226 横浜市緑区三保町2440
雲居 隆栄 ☎045-932-3348
- 最願寺 〒230 横浜市鶴見区矢向4-19-18
藤江 昭道 ☎045-571-4694
- 宝光寺 〒231 横浜市中区桜木町3-5
藤田 恭順 ☎045-201-3509
- 宣正寺 〒232 横浜市南区中里3-20-18
早島 大英 ☎045-731-2679
- 善然寺 〒232 横浜市南区大岡2-26-17
永野 弥然 ☎045-741-2351
- 清来寺 〒241 横浜市旭区今宿南町1895
曾我 求真 ☎045-951-0012

本願寺築地別院都市開教布教所

- 横浜布教所 〒240 横浜市保土ヶ谷区和田2-12-19
開田 蓮成 ☎045-341-7455
- 三ツ境布教所 〒241 横浜市旭区笹野台3-9-9
原田 晃英 ☎045-364-2266
- 横浜緑布教所 〒224 横浜市都筑区加賀原2-18-1
小泉 敬信 ☎045-934-8648
- 磯子布教所 〒231 横浜市中区根岸加曾台25-47
中戸 達雄 ☎045-623-4480
- 川崎布教所 〒213 川崎市高津区下作延845-16
加藤 孝充 ☎044-855-2780

かながわそ
「神奈川組」とは…

私たちの教団(浄土真宗本願寺派)は、全国に一万余りの寺院を擁し教団独自の地区割をしています。その一番小さな単位を「組」といいます。神奈川組は、川崎市と横浜市中部と北部の寺院によって構成されています。

浄土真宗本願寺派東京教区神奈川組

組長/永野 弥然
副組長/林 信順
副組長/斎藤 幸紹
教区会議員/曾我 求真
相談員/小林 泰善

身近にある仏教語

「他力本願」という言葉を耳にしたとき、「自分でできないから他人にしてもらうこと」また、「自らの成功の為に他人の力を利用する」というような表現の時に使用することばだと思われる方が多いのではないのでしょうか。確かに現在、「○○チーム他力本願で優勝」といった形でマスコミ報道などでよく使われます。

しかし、この言葉はもともと仏教用語であり、親鸞聖人が「教行信証」行巻に「他力というは如来の本願力なり」といわれているように、人の力を当てにするのではなく阿弥陀さまの願い（生きとし生けるものすべてを必ず救おうとする願い・誓い）のはたらきのお力のことを言うのです。

他力本願

阿弥陀さまにすべてお任せす

るということです。ですから、私たちの日々の生活までも、「お任せするのだから何もなくてもいい」と言っているではありません。むしろ如来さまの「心配するな、私にまかせよ」という願いのなかに包まれているわたしだからこそ今の自分にできることを精一杯やらせてもらい、力強く生きることを言うのです。

他力本願とは、浄土真宗の教えのなかで非常に大切な言葉です。まぢがった使われ方に気がついたとき、わたしたちは「他力とは如来の本願力なり」という親鸞聖人のおことばに帰り、あらためてその教えに出遇わさせていただきますましよう。

うのです。

それは、わたしが「浄土に往生し仏となること」を、

編集後記

編集後記

◆一九九八年は、「蓮如上人五百回遠忌法要」が勤まります。皆さんそろって、ご法要に参加されて「イノベーター上人」に会われてはいかがですか？ (M・F)

◆宗教学者の改正は、エセ宗教をなくせるのだろうか。みなが偽物の宗教を見抜く目を持つほうが確かなのだが。 (T・K)

◆阪神・淡路大地震から一年以上経過した今、テレビに映る神戸の町並みを見て思うことは、物人が造るといふことだ。(K・K)

◆宗教を知らない子供たち。人生という長い旅路を何を頼りに生きていくのだろうか。一人でも多く阿弥陀さまの教えに出会ってくれれば、そうすれば…。(Y・F)

◆組報「かながわ」は、川崎市と横浜市北部・中部に散在する浄土真宗本願寺派寺院の協力で刊行されている、ご門徒のための広報誌です。どうぞ、ご意見をお寄せ下さい。(Y・M)



浄土真宗本願寺派 (西本願寺)

浄土真宗 最乗寺

〒224 横浜市都筑区勝田町1277
電話 045 (941) 3 5 4 1

組報かながわ No.9

■発行日 1996年3月15日
(毎年1回3月発行)

■編集発行 浄土真宗本願寺派
東京教区神奈川組
基幹運動推進委員会

〒232 横浜市南区大岡2-26-17 善然寺内